

■環境仕様書

[]内はAWD車の数値

グレード名		インプレッサ		
車両型式		ST	ST-G	ST-H
エンジン		3BA-GU6[3BA-GU7]		
エンジン型式		FB20		
総排気量(cc)		1995		
種類		2.0L 水平対向4気筒 DOHC 16バルブ デュアルAVCS 直噴		
燃料種類		無鉛レギュラーガソリン		
駆動装置		FWD[AWD(常時全輪駆動)]		
変速機		リニアトロニック		
車両重量(kg)		1390[1430注1]	1530[1570]	1540[1580]
燃料消費率	JC08モード	燃費値(km/L) (国土交通省審査値)◆	15.8[14.7]	19.4[18.9]
		CO ₂ 排出量(g/km)	147[158]	120[123]
	WLTCモード	燃費値(km/L) (国土交通省審査値)◆	14.0[13.6]	16.6[16.0]
		CO ₂ 排出量(g/km)	166[171]	140[145]
		市街地モード(WLTC-L)	9.3[9.2]	13.4[12.8]
		郊外モード(WLTC-M)	14.8[14.3]	17.0[16.4]
	高速道路モード(WLTC-H)	17.1[16.5]	18.2[17.6]	
	燃費基準達成レベル		— 2030年度燃費基準70%達成 [2030年度燃費基準65%達成]	
排出ガス	適合規制		平成30年規制	
	低排出ガス車認定レベル		— 平成30年基準50%低減	
	試験モード		WLTC	
	基準値	CO(g/km)	1.15	1.15
		NMHC(g/km)	0.10	0.05
NOx(g/km)		0.05	0.025	
PM(g/km)		0.005	0.005	
騒音	適合規制		平成28年規制	
	加速騒音規制値(dBA)		70	
エアコン冷媒の種類(GWP値注2)/使用量(g)		HFO-1234yf(1注3)/425		
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)		
環境負荷物質の削減	鉛*1	自工会2006年目標達成(1996年時点の1/10以下)		
	水銀*2	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
リサイクル	リサイクルしやすい材料の使用	バンパー、インパネ、ドアトリム等にリサイクルしやすい熱可塑性樹脂を多用		
	再生材の使用	一部の樹脂部品に市場回収リサイクル材を、防振防音材に古衣類・縫製端材・古紙を再利用		
	材質表示	100g以上の樹脂部品、200g以上のゴム部品に材質表示		
	解体性を考慮した設計	電気系ハーネスの取り外し容易化、バンパーの材質を取り外し前に確認できる位置に表示		
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基板・電気部品のはんだ、銅合金(ブレーキ配管継ぎ手)等		
	水銀	全廃済み(自工会目標適用除外部品も含む)		
	六価クロム	全廃済み		
	カドミウム	全廃済み		

注1:メーカー装着オプションのオーディオレス仕様の数値。標準仕様は1440kg。

注2:GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)

注3:改正フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

◆燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。したがって、実際の走行時には、気象、道路における交通の混雑の状態、運転方法に応じて燃料消費率が異なってきます。

◆WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

◆燃料消費率はインテリジェントモード時の数値です。

■自工会目標適用除外部品 *1:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、HIDヘッドランプ(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)

■CO₂排出量は燃費からの換算値です。



低燃費+低排出ガス性能の向上のために

SUBARUは、力強い走りと燃費性能、低排出ガス性能を両立するための取り組みを積極的に行っています。

- エンジンの高効率化、パワートレインの最適化、軽量化
- SI-DRIVE等、低燃費走行へとドライバーを導く装備の搭載

燃費基準達成レベル	2030年度燃費基準65%達成	ST-G AWD車 ST-H AWD車
	2030年度燃費基準70%達成	ST-G FWD車 ST-H FWD車
低排出ガス車認定レベル	平成30年基準50%低減	ST-G ST-H



車室内VOC*の低減

鼻、のどなどへの刺激の原因とされるホルムアルデヒド、トルエン等の揮発性有機化合物を低減するために、車室内の部材や接着剤を見直すことで、その揮発性を抑制しました。また、厚生労働省の定めた13物質の室内濃度指針値を下回るレベルとし、車室内の環境に配慮しました。

*VOC=Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物)

生産における環境負荷の低減

SUBARUは、工場から排出される廃棄物をゼロレベルにする「ゼロエミッション工場」化をすすめています。また、生産における省エネルギー化、水使用量の低減など、環境に優しいクルマづくりをすすめています。

リサイクル性の向上

リサイクル性に優れたPP材を内外装部品に積極的に使用しています。

■リサイクル料金表

- 自動車リサイクル法により、下表のリサイクル料金が別途必要になります。
- リサイクル預託金を預託済みの自動車を、中古車として譲渡する場合には、車両価値金額に加えリサイクル預託金相当額を新所有者からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。

車種	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
ST ST Smart Edition	8,120円	2,590円	0円	130円	290円	11,130円
ST-G ST-H	8,980円	2,590円	0円	130円	290円	11,990円